

第4回学校運営協議会報告（豊似小学校）

令和2年度第4回運営協議会が令和3年3月15日（月）19：00から豊似小学校会議室で開催されました。

1. 学校関係者評価報告書

各委員から提出された学校関係者評価票を総括し、全体として「概ね妥当」な評価とする学校関係者評価報告書（次頁以降に掲載）を決定しました。

2. 学校運営の基本方針の承認

学校から示された、「学びに向かう力を磨き、基礎基本の定着と深い学びを追求する児童」を重点教育目標とする令和3年度の教育課程と学校経営計画（次頁以降に掲載）を承認しました。

3. 熟議「教育環境分析」

「重点教育目標」と「育成を目指す資質・能力」を観点にして、「教育環境の強み・弱み」について意見交換を行いました。（次頁以降に掲載）



学校関係者評価報告書

本協議会において承認した教育課程、学校経営計画の自己評価について、学校関係者評価を実施しました。その結果、一部に「よくわからない」という回答があるものの、全体としては「概ね妥当」な評価であると考えます。

次年度の学校評価の実施に向けては、学校マネジメントにおける自己評価の重要性を踏まえ、各委員の意見等を参考に改善を図っていただきますようお願いいたします。

令和3年3月15日（月）

広尾町立豊似小学校長 野田 淳 様

豊似小学校学校運営協議会長 大庭 克彦

教育活動の実施状況

【次の知識及び技能を身に付ける。】

観点	評価の妥当性(人)
① 学年に応じた基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにする。(国語科)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 4
② 既習内容を基に、適切な手順により答えを導こうとする技能を身につける。(算数科)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 4

【次の思考力、判断力、表現力等を身に付ける。】

観点	評価の妥当性(人)
③ 話し合いを充実させることで、主体的・対話的に伝えあう力を高め、思考力や想像力、表現力を養う。(国語科)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 4
④ 知的好奇心を働かせながら学び、もっている知識・技能を活用して深く理解したり、創造したりすることができる。(各教科、総合的な学習)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 4

【次のような意欲や態度、人間性等を醸成する。】

観点	評価の妥当性(人)
⑤ 話し合いを充実させる中で自分の良さに気付き、仲間と協力し、助け合う態度を養う。(国語科)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 4
⑥ 特に「挨拶」「感謝の心」「学ぶ意欲」を意識した取組の中で、学ぶ意味を探究し、主体的に学ぶ態度を養う。(各教科、道徳科、総合的な学習、行事)	概ね妥当 4 妥当と思わない よくわからない 無回答 4
⑦ 地域との繋がりを大切にして、身近な大人を通して将来への夢や目標をもち、自己実現に向けた学校生活を送ることができる。(総合的な学習、道徳科、特別活動、行事)	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 4

学校経営の実施状況

項目	観点	評価の妥当性(人)
校長・教頭	① 重点教育目標の具現化、具体化の方策を的確に示す。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
	② 重点教育目標の達成に向けた取組を保護者、関係機関に示す。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
	③ 計画的な学校評価の実施により、経営計画の改善に努める。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
	④ 放課後の居場所づくりのスムーズな取組を行う。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
教務部	⑤ 道徳教育の重点に「挨拶」「感謝」を設定し、指導計画、教材を提示する。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
	⑥ 基礎基本の確実な定着を図る。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
	⑦ 自己肯定感を高める授業の工夫や手立てを提示し、共有する。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5

	⑧ 学習規律の見直しと指導の徹底を図る。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
研修部	⑨ 授業公開を中心にした校内共同研究を推進する。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 4
	⑩ 「話し合い活動」を積極的に授業の中で取り入れる研修を深める。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 4
	⑪ 各種研修会や研究会への意図的な参加で教育研修の充実を図る。	概ね妥当 2 妥当と思わない よくわからない 2 無回答 4
	⑫ 実技研等でプログラミング教育のスキルを高め、推進を図る。	概ね妥当 2 妥当と思わない よくわからない 2 無回答 4
指導部	⑬ 児童会活動、クラブ、縦割り班活動等を通して、児童自身が考え、実行する力を育成する。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 無回答 5
	⑭ 「校内生活のきまり」「校外生活のきまり」の浸透を図るとともに、状況に応じて重点を絞った取組を行う。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 1 無回答
	⑮ 行事や学校生活において「自己肯定感」や「思いやりの心」を育てる取組を行う。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 4
事務部	⑯ 教務部と連携し、教材・教具の整備・充実に努める。	概ね妥当 3 妥当と思わない よくわからない 1 無回答 4
	⑰ 行事や学級事務等、各担任との連携を密にする。	概ね妥当 2 妥当と思わない よくわからない 2 無回答 4

令和3年度 広尾町立豊似小学校経営方針

I 学校教育目標（平成11年3月制定）

○ 校訓 「強く、正しく、豊かに」

○ 教育基本目標

- | | | |
|-------------|-------|-------|
| 1 心と体をきたえる子 | | （意・体） |
| 2 すすんで学ぶ子 | | （知） |
| 3 思いやりのある子 | | （情） |

II 基本的な考え方

今回の学習指導要領改訂は、新しい時代に必要とされる「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」の資質・能力と学習評価の充実を目指している。

昨年度より、我が校では学校力向上に関する総合実践事業の指定を受け、包括的な学校改善の推進に努めている。全教職員がチームとなって「学校全体の教育効果を生み出す実践力」「教育課題に迅速かつ適切に対応できる組織力」「学校全体で学び続け学校改善を進める力」等の向上を着実に図っていくことが重要である。

教師の率先垂範と協働体制のもと、子どもたちが学ぶことの意義を実感し、資質・能力を確実に伸ばせるよう、意図的・計画的に質の高い教育活動を日々確実に展開していく。

III 今年度の重点教育目標と目指す資質・能力等

1 重点教育目標

「学びに向かう力を磨き、基礎基本の定着と深い学びを追求する児童」

学校スローガン

「あいさつ」「ありがとう」「やる気」があふれる学校

2 育成を目指す資質・能力

- （1）重点教育目標達成のため、教科の見方・考え方に基づき、物事を伝え合うために必要な国語を正確に理解し、適切に表現する知識・技能を高める。
- （2）言葉による見方・考え方を働かせ、「対話的な活動」を充実させることで、主体的・対話的に伝えあう力を高め、思考力・判断力・表現力を身につけ、深い学びに繋げる。
- （3）「対話的な活動」を充実させることで言葉による見方・考え方を働かせ、自他共の良さに気付き、自己肯定感を高め、自ら主体的に関わろうとする態度を養う。

3 各教科等における指導の重点

（1）知識・技能の習得

- ① 学年に応じた基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようにする。（各教科）
- ② 既習内容を基に、適切な手順により答えを導こうとする技能を身につける。（算数科）

（2）思考力・判断力・表現力等の育成

- ① 「対話的な活動」を充実させ、深い学びを追求することで、主体的・対話的に伝えあう力を高め、思考力や想像力、表現力を養う。（国語科）

- ② 知的好奇心を働かせながら学び、もっている知識・技能を活用して深く理解したり、創造したりすることができる。(各教科、総合的な学習)

(3) 学びに向かう力、人間性等の涵養

- ① 言葉による見方・考え方を働かせ、「対話的な活動」を通して自分の良さに気づき、仲間と協力し、助け合う態度を養う。(国語科)
- ② 特に「挨拶」「感謝の心」「学ぶ意欲」を意識した取組の中で、学ぶ意味を探究し、主体的に学ぶ態度を養う。(各教科、道徳科、総合的な学習、行事)
- ③ 地域との斜めの繋がりを大切にし、身近な大人を通して将来への夢や目標をもち、自己実現に向けた学校生活を送ることができる。(総合的な学習、道徳科、特別活動、行事)

IV 教育資源を最適化する学校経営計画

令和3年度 重点教育目標 学びに向かう力を磨き、基礎基本の定着と深い学びを追求する児童		
項目	取組	備考
校長 教頭	・重点教育目標の具現化、具体化の方策を的確に示す。	
	・重点教育目標の達成に向けた取組を保護者、関係機関に示す。	
	・計画的な学校評価の実施により、経営計画の改善に努める。	
	・放課後の居場所による周囲の大人と斜めの関係の構築を図る。	
教務部	・道徳教育の重点に「挨拶」「感謝」を設定し、指導計画、教材を提示する。	
	・基礎基本の確実な定着を図る。	
	・自己肯定感を高める授業の工夫や手立てを提示し、共有する。	
	・学習規律の見直しと指導の徹底を図る。	
研修部	・授業公開を中心にした校内共同研究を推進する。	
	・「対話的な活動」を積極的に授業の中で取り入れる研修を深める。	
	・各種研修会や研究会への意図的な参加で教育研修の充実を図る。	
指導部	・実技研等でプログラミング教育等のスキルを高め、推進を図る。	
	・児童会活動、クラブ、縦割り班活動等を通して、児童自身が考え、実行する力を育成する。	
	・「校内生活のきまり」「校外生活のきまり」の浸透を図るとともに、状況に応じて重点を絞った取組を行う。	
	・行事や学校生活において「自己肯定感」や「思いやりの心」を育てる取組を行う。	
事務部	・自分の身体に関心を持ち、健康で安全な生活を営むための基本的な生活習慣を育成する。	
	・学校予算や旅費、給与手当についての情報の共有化を図る。	
	・安全で快適な教育環境の整備に努める。	

学びに向かう力を磨き、
基礎基本の定着と
深い学びを追求する児童

対話的な活動

言葉による見方や考え方

学校と地域
【教育環境】

強み

- 間接指導
- 友だち先生との関係が密
- 小さい学校
- 学年が違っても同級生のように
言いたいことが言える
- 少人数
- コロナでも活動できる
- 勉強が分からないまま進まない
- 上級生が下級生に優しい
- 児童会・リーダー
- 自分たちで行動

弱み

- 人間関係が固定化
- 1年サイクルの教育課程
- 内弁慶
- 少人数

強み

- 地域の語り部がいる
- 地域のことをよく知っている住人
- 野生の動物
 - ウサギ
 - 鹿

弱み

- 地域の大人との接点が少ない
- 豊似地区だけの生活
 - 敬語
 - 挨拶が育ちにくい

言葉でない対話も重要